

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年 05月 11日

事務事業名	地域公民館活動奨励事業			担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	B 学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	1 生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和40 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費				
事業概要	<p>自治会や町内会など身近な地域活動の拠点として、集会の場、学習と創造の場、地域課題の解決の場として、大きな役割を持っている地域公民館に対し、公民館活動を奨励し、活動を活発化するため昭和40年代から、事業が開始された。</p> <p>地域公民館の世帯数及び事業回数に応じて、地域公民館に対して支出している。平均1館56000円。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 算定内訳（以下の合計額） - ・館長活動費25000円（定額） ・均等割15500円（定額） ・戸数割4000円-40000円 ・事業割「花いっぱい運動」7500円「芸能発表会」7000円「球技大会」7000円を参加館にプラス 						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 自主的な活動が行われることにより、地域活動が活発になり、地域住民のコミュニケーションがはかられ、住みよい地域づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域公民館活動の活性化を図るために、市が関与することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある すべての公民館を対象としているので、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 公民館活動により、地域の活性化と連帯意識が育まれている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止した場合には、地域の活性化、連帯感の低下につながる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 公民館活動を奨励するための最小限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事務処理に要する最小限の経費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内全地域公民館を対象とし、世帯数と事業実績に応じて支出しており公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 <table><tr><td>①目的妥当性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>②有効性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③効率性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>④公平性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr></table>	①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
③効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
		コスト																																			
		削減	維持	増加																																	
成果	向上																																				
	維持																																				
	低下																																				
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																																					
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																																					